

 3D Office Designer 11

 3DオフィスデザイナーPRO10

クイックガイド



5つのステップに沿って解説します

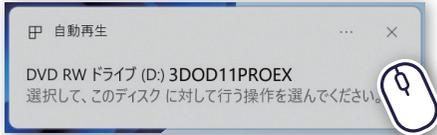
STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5
セットアップ	起動	平面 プラン	3D デザイン	プレゼン

STEP1 | セットアップ

Windows11にセットアップする手順をご案内します。

1 セットアップディスクをDVDドライブに挿入します。

2 画面右下にDVDドライブのメッセージが表示されます。このメッセージの中をクリックします。



※上記のドライブのメッセージが表示されない場合

2 画面中央部分下のWindowsの【スタート】ボタンをクリックし、【エクスプローラー】を選択し開きます。



【PC】をクリックし、右側に表示されたDVDドライブの【3DOD11PROEX】をダブルクリックします。



4 に続きます。

3 ディスクドライブからメッセージが表示されます。【AUTOSELE.EXEの実行】をクリックします。



4 【アプリケーションのセットアップ】をクリックします。



【アプリケーションのセットアップ】※をクリック後、【ユーザーアカウント制御】画面が出た場合は、【はい(続行)】をクリックして次へ進んでください。

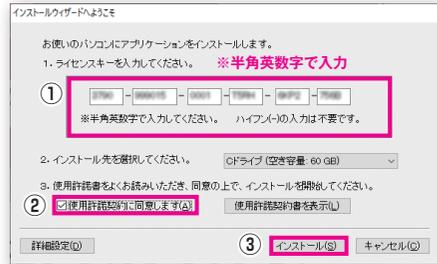
※3Dオフィスデザイナー PRO10は【START】をクリックします。

5 ライセンスキーを入力します。セットアップディスクのケースに貼られたライセンスキーを入力欄に半角英数字で入力してください。

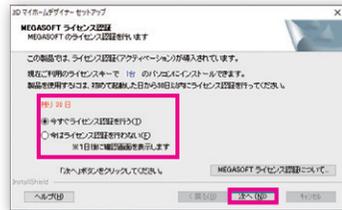


ライセンスキー入力後、「使用許諾契約書を表示」をクリックし、内容をよくお読みください。

使用許諾契約をよくご理解の上、「使用許諾契約に同意します」にチェックをつけて、【インストール】をクリックし、インストールを開始してください。ファイルのコピーが始まります。



6 インストールが終了したら、【メガソフトライセンス認証】で認証を行います。いつ行おうかを選択して【次へ】をクリックします。



ライセンス認証をすぐ行う場合は、【次へ】をクリック後、画面の案内に従って認証を完了してください。

7 【ユーザー登録】画面から【登録】※を行った後、【次へ】をクリックします。



※ユーザー登録用のホームページが別途開きます。

8 【Install Shield Wizard の完了】画面で【完了】をクリックし、セットアップディスクを取り出します。



インストール完了です。

STEP2 | 起動

セットアップ後のソフトの起動方法についてご案内します。

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックして、製品を起動します。



3D オフィスデザイナー 11 Professional EX



3D オフィスデザイナー PRO10

オンラインアップデートの案内が出た場合は、アップデートをおこなってください。

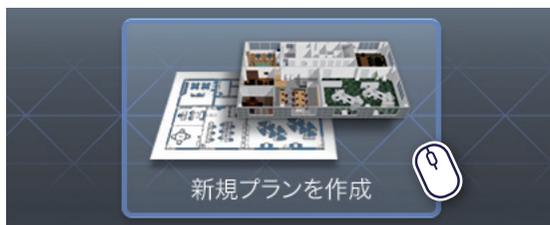
2 メインメニュー画面が起動します。



メインメニュー画面

- A** 新規プランを作成します。
- B** 作成したファイルを選んで開きます。
- C** サンプルを開きます。
- D** オリジナルのパーツを作成するときに利用します。
- E** 以前に使用したファイル履歴を選択してファイルを開きます。
- F** インターネットに接続して最新のプログラムに更新します。
- G** メインメニュー画面を閉じます。

3 【新規プランを作成】を選択してプラン作りを始めます。



間取り編集画面が開きます

最初に簡単な操作を体験しましょう!

間取り編集画面で平面レイアウト作成、3D画面で意匠・装飾の検討・確認をおこないます。
はじめに部屋を作成しながら、間取り編集画面と3D画面の基本的な操作を確認してみましょう。

1 建築物の基本単位(モジュール)を設定します



1. ここでは[メーターモジュール(1000mm)]を選択。
2. [完了]をクリック。
3. 間取り編集画面が開きます。

2 床、壁を入力して部屋を作成します。

フロア作成 を選択します。

1. パレットの[四角形]をクリック。
2. 作図エリアで頂点をクリック後、対角の頂点をクリック。

マウスホイール操作による画面操作

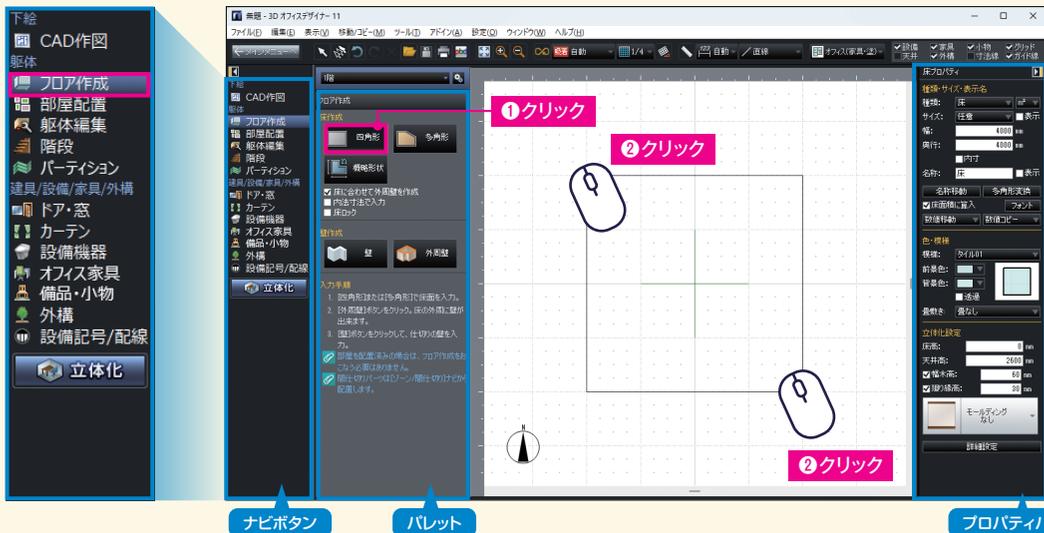
【拡大・縮小】
ホイールを前後に動かす。



【画面スクロール】
ホイールを押し込みながら、マウスを動かす。



- 【床に合わせて外周壁を作成】のチェックを外すと床のみを作成します。
- パレット内にある【壁】をクリックして、仕切り壁を入力できます。

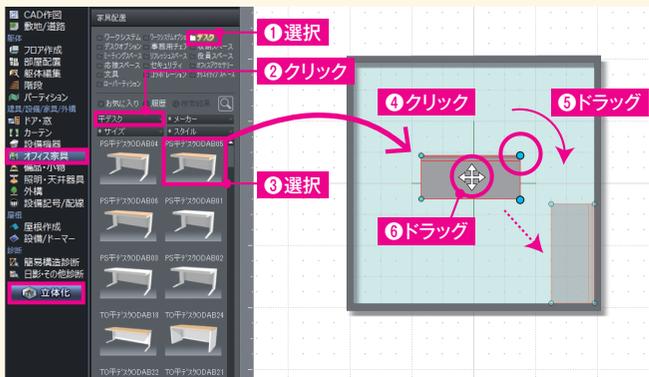


ナビポタン

パレット

プロパティパレット

③ オフィス家具を配置します



配置したフロアや設備を削除するには、選択しキーボードの[Delete]キーで削除します。

オフィス家具 を選択します。

1. パレットの[デスク]を選択。
2. [種類]をクリックして、[平デスク]をクリック。
3. パレットからパーツを選択。
4. 床の上でクリック。
5. 水色のハンドルをドラッグして回転。
6. ドラッグしてデスクを右下に配置。



立体化 をクリックし、作成した部屋を3D画面で見てください。

④ 3D画面で確認します

内観確認 を選択し、視点変更ツールを使って内観を確認します。



回転してみましょう。

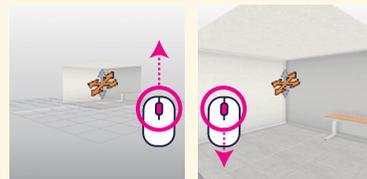
1. [着地]をクリック。
2. [見回す]をクリック。
3. マウスの左ボタンを押したままマウスを上下左右に移動。

前後に移動してみましょう。

1. [水平移動]をクリック。
2. パース図上で上/下方向にドラッグすると前方向/後ろ方向に移動。

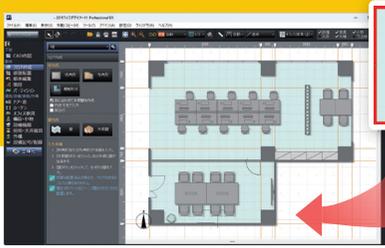
視点変更ツール 3Dの表示状態を切り替えられるツールがボタンで表示されています。[その他の視点変更方法について：参照P.16 視点の設定方法]

マウス操作による視点変更操作



間取り編集へ をクリックすると、間取り編集画面に戻ります。

間取りをレイアウトしましょう!



オフィス家具やパーティション、
ドアを配置してみましょう

STEP3 平面プランの作成

平面プランを作成するための基本的な操作を説明します。

間取り編集画面

平面プランを作成します。

フロアリスト

リストから編集するフロアやCADレイヤに切り替えます。

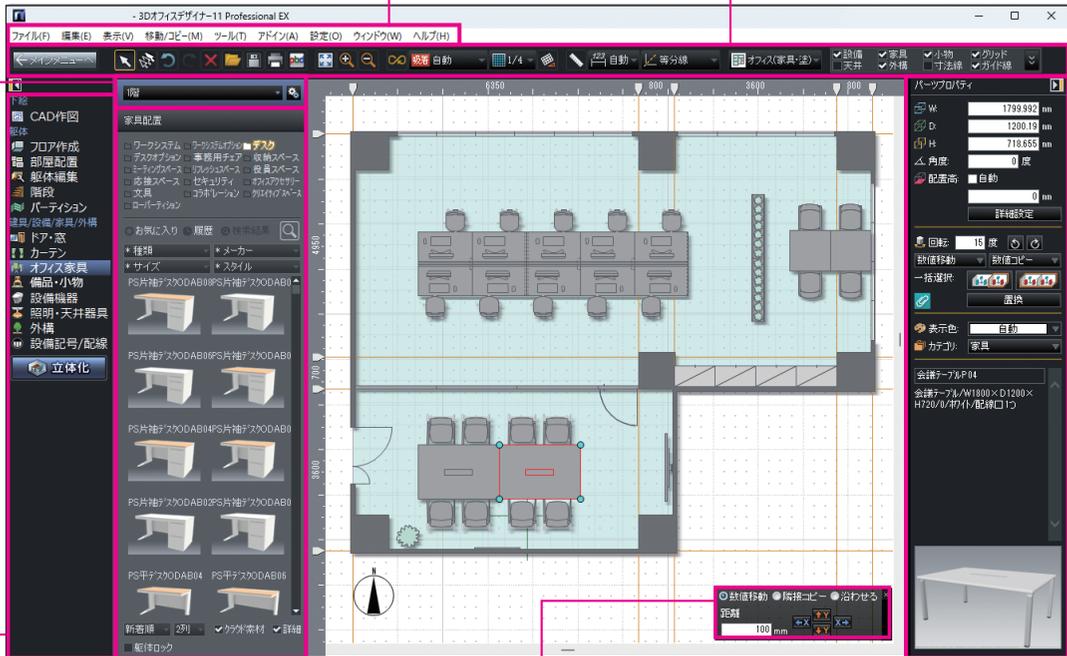
※3Dオフィスデザイナー PRO10にはフロアリストはありません。

メニューバー

搭載されている機能を、項目ごとにまとめています。

ツールバー

よく使う操作をワンクリックで実行できるように、ボタンで表示しています。



ナビボタン

ナビボタンを選択すると、作業内容に応じたパレットに切り替わります。

パレット

選択したメニューや「ナビ」によって作業に必要な素材、設定項目が表示されます。

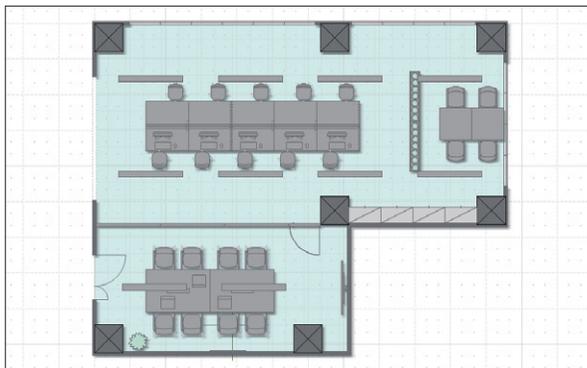
シフトパッド

家具や入力済みの壁などを選択すると表示されます。数値移動やコピーができます。

プロパティパレット

選択した要素の設定項目や詳細情報が表示され、編集できます。

1 平面プランを作成します



フロア作成 を選択します。

左の完成形を見本に、多角形のフロアを入力します。

サイズを表示するには、画面右 [部屋プロパティ] の「サイズ」にチェックを入れます。

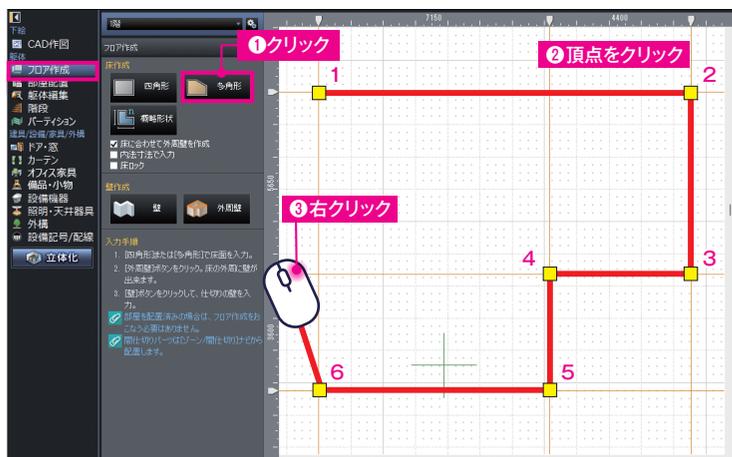


[レイアウトする前に:参照 P.09 間取りをレイアウトする際に便利な設定]

- ① パレットの [多角形] をクリック。
- ② フロアの頂点を「6」まで順番にクリック。
- ③ 何もないところで右クリックで終了。

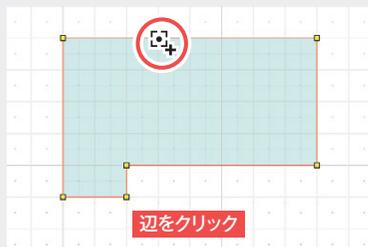
始点に戻ってクリック、「6」でダブルクリックでも終了できます。

座標値を指定して多角形の床を入力することもできます。[参照 P.07 座標を指定して多角形の床を入力]



床の頂点の編集方法 頂点を編集することで、床の形を自由に変形でき、自在に作図できます。

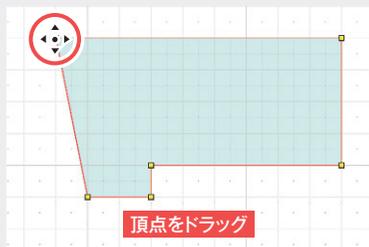
頂点を追加



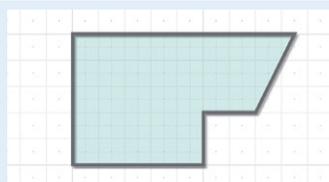
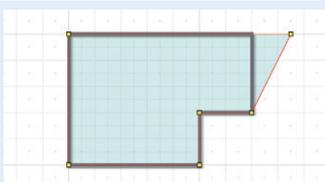
頂点を削除



頂点を移動



壁を入力している状態で床の形を変形した場合は、[外周壁] をクリックすると入力済みの壁を削除して床の外周に壁を入力します。



内法寸法での床入力、座標を指定して多角形の床を入力

現地調査で測定したサイズを入力する際に便利な機能です。

内法寸法での床の入力

フロア作成 を選択します。

- ① 【内法寸法で入力】にチェック。
- ② 【多角形】をクリックして床を入力。

① チェック



入力済みの床は、床プロパティパレットの【内寸】にチェックを付けると内法寸法の床に切り替わります。



内法寸法線の表示

- ① ツールバーの寸法線ボタンで【自動】をクリック。
- ② 【内法】を選択。

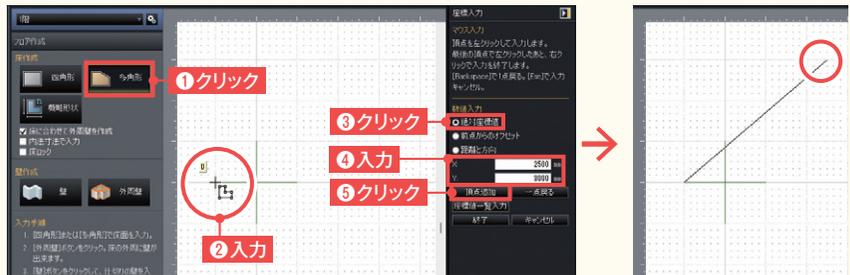


座標を指定して多角形の床を入力

絶対座標値 多角形の床や部屋の頂点を絶対座標値(グリッド原点をx=0、y=0とした座標値)で指定して入力できます。

フロア作成 を選択します。

- ① 【多角形】をクリック。
- ② 1点目の頂点を入力。
- ③ 【絶対座標値】をクリック。
- ④ 【X】【Y】に値を入力。
- ⑤ 【頂点追加】をクリック。



前点からのオフセット

【前点からのオフセット】を選ぶと、前点を原点(x=0、y=0)とした座標値で頂点を入力できます。

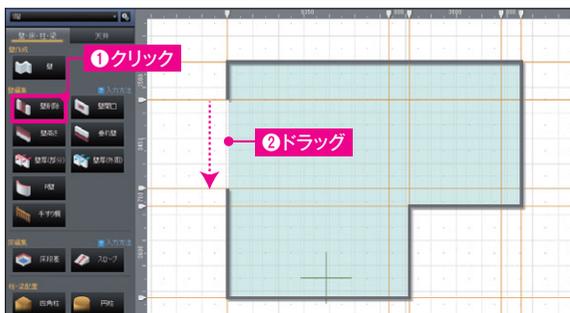


距離と方向

【距離と方向】を選ぶと、前点からの距離と方向を矢印ボタンで指定して、頂点を入力できます。



2 壁を編集します



躯体編集 を選択します。

- ① パレットの**[壁削除]**をクリック。
- ② 壁の一部をドラッグで削除。

削除した壁の両端にある黄色のハンドルでサイズを変更できます。

壁をクリックすると、クリックした壁一面削除できます。

壁編集を削除する時は、選択して**[Delete]**キーで削除します。

壁の開閉部いろいろ



部屋をつなげる場合や壁の一部を削除する時に使用します。



位置・高さを指定して、壁の一部を開口します。

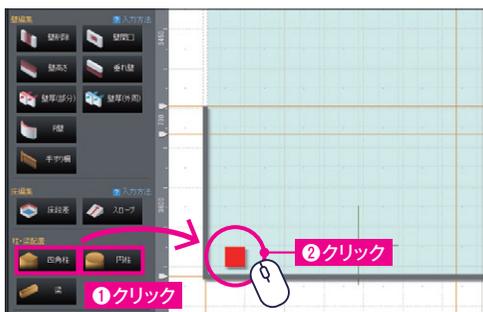


部屋の境に垂れ壁を作成するときに使用します。



仕切り壁などを作成する時、床からの高さを指定して作成します。

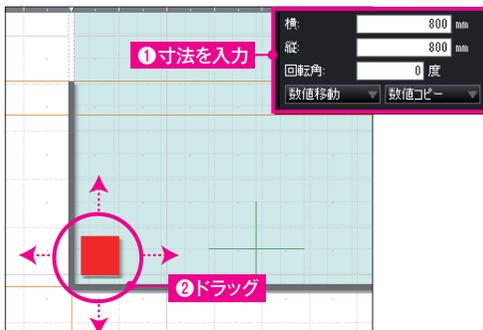
3 柱を配置します



躯体編集 を選択します。

- ① パレットの**[四角柱]** (または**[円柱]**)をクリック。
- ② 配置したい場所でクリック。

柱の高さは、自動で床から天井までの高さで設定されています。



サイズや位置を調整します。

- ① 画面右側の**[柱プロパティ]**で、寸法を入力してサイズを調整。
- ② 柱をクリックして、ドラッグで位置を調整。

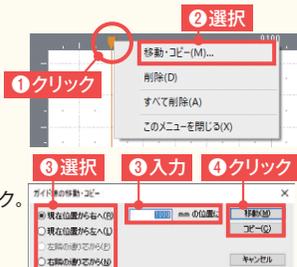
間取りをレイアウトする際に便利な設定

ガイド線の設定

作成するプランに合わせてガイド線を設定しておく
と作成がスムーズです。

数値移動・コピー

- ① マーカーをクリック。
- ② **【移動・コピー】**を選択。
- ③ 方向を選択し距離を入力。
- ④ **【移動】**または**【コピー】**をクリック。



削除

- ① 削除したいルーラーをクリック。
- ② **【削除】**を選択。

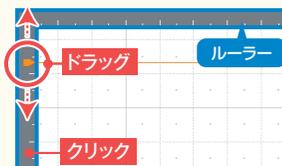


移動

マーカーをドラッグ

追加

ルーラーをクリック



グリッドの分割数を変更

頂点や部屋はグリッドに吸着します。プランを作成し
やすいように、任意のグリッド(分割数)を設定できます。

- ① **【グリッド分割】**をクリック。
- ② 任意の分割数を選択。



ルーラー上を
右クリックでも
設定できます。

吸着方法の切替

目的に応じて吸着タイプを切り替えられます。

- ① **【吸着 自動】**をクリック。
- ② 吸着方法を選択。



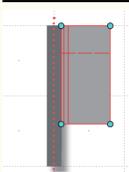
吸着 自動

グリッド線、ガイド線、部屋、パーツ
などに吸着します。

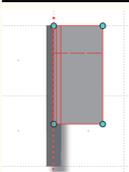
吸着 グリッド

グリッド線の交点、設定したグリッド
分割の位置に吸着します。

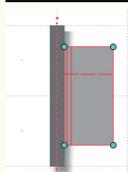
吸着 壁面端点



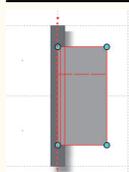
吸着 壁芯端点



吸着 壁面線上



吸着 壁芯線上



壁面や壁芯の端点・線上に吸着します。

吸着 なし

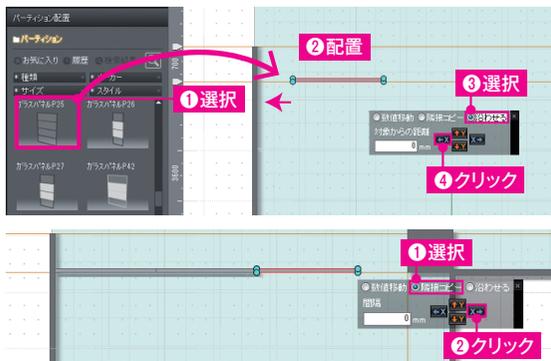
吸着しません。

階高・壁厚の変更

階高、壁厚は、**【設定】**メニューから**【階数・階高・壁厚
設定】**を選択し、**【階数・階高・壁厚設定】**画面より
変更できます。



4 ハイパーパーティションを配置します



パーティション を選択し、ハイパーパーティションを配置します。

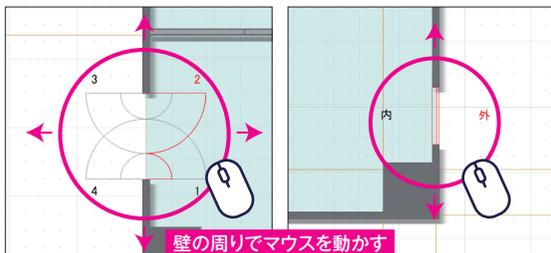
シフトパッドの**[沿わせる]**を選択し、壁のある方向をクリックして壁に添わせませす。

パーツを選択するとシフトパッドが表示され、操作できます。
[参照P.12 シフトパッドでパーツを移動・コピー、物に沿わせる]

続けて**[隣接コピー]**を選択し、並べる方向をクリックします。

ローパーテーションは、**オフィス家具** から配置します。

5 ドア・窓を配置します



ドア・窓 を選択し、壁上にドアを配置します。

壁の周りでマウスを動かし、開閉方向を示す赤い線が目的の方向にきた場所でクリックします。

グリッドに吸着して配置しにくい場合は吸着をOFFにします。



6 オフィス家具を配置します

オフィス家具 を選択し、オフィス家具を配置します。

[オフィス家具の配置方法: 参照P.04 デスクの配置]

シフトパッドの**[沿わせる]**で壁やパーツに沿わせることができます。[参照P.12 シフトパッドでパーツを移動・コピー、物に沿わせる]

7 デスクの上に小物を配置します



備品・小物 を選択します。

① パレットの**[電化製品]**をクリック。

② **[種類]**をクリックし、**[パソコン・IT]**を選択。

③ パレットからパソコンを選択し、デスクの上でクリック。

同様の手順で、トイレなどの設備は **設備機器** から、照明器具は **照明・天井器具** から配置します。

クラウド素材(データセンター)について…



パーツパレットで雲のマークがついているパーツは、クラウド素材です。

クラウド素材をご利用になるにはデータセンターの正会員(有償)の登録が必要です。
クラウド素材をパレットから配置した際に表示される画面でデータセンターにログインして使用します。*(1か月の無償期間がついています。)

パーツなどの選択・表示・整列について

部屋やパーツが重なって選択できない時

パーツが重なって選択できない場合は、重なって配置されている箇所をクリックし、ツールバーの[選択を背後に切替]をクリックすると選択対象が切り替わります。

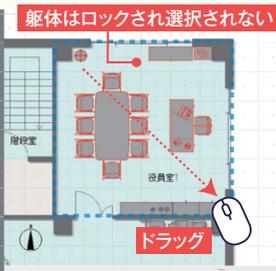
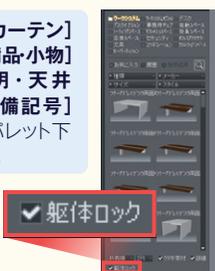
また、キーボードの[スペースキー]でも同様の操作ができます。



躯体をロックする

部屋にある複数のパーツを一度にまとめて選択する時に、パレット下部にある[躯体ロック]にチェックを入れると部屋がロックされるので、ドラッグでまとめて選択できます。

☑ [躯体ロック]は[カーテン][オフィス家具][備品・小物][設備機器][照明・天井器具][外構][設備記号]ナビ選択時のみパレット下部に表示されます。



図面上に表示するものを変更する

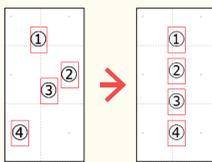
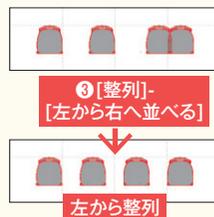
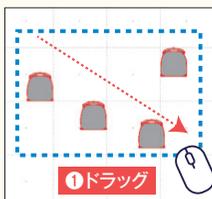
ツールバーの[表示切替]でチェックを切り替えると、表示物を変更できます。



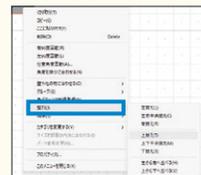
パーツや文字などを整列する

- ① 整列したいパーツ(文字)をドラッグで囲むように選択。(またはshiftキーを押しながらクリックして選択。)
- ② 画面右の複数選択プロパティの[整列] [上揃え]をクリック。上端が一番上のパーツに揃います。
- ③ 続けて [左から右へ並べる]をクリック。

数字も同様に[整列]の [左右中央揃え] と [上から下へ並べる]で整列。



☑ 複数選択後、右クリックメニューからも整列できます。



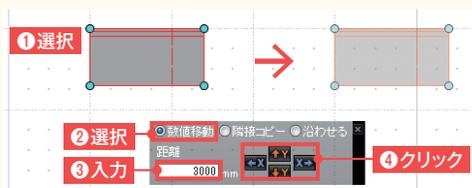
パーツのコピー・移動について

シフトパッドでパーツを移動・コピー、物に沿わせる

数値移動

- 1 パーツを選択。
- 2 シフトパッドで【数値移動】を選択。
- 3 移動する距離を入力。
- 4 移動する方向の矢印ボタンをクリック。

④ パーツ選択後、Shift+矢印キーでも数値移動できます。

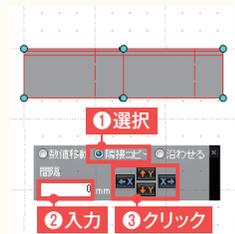


隣接コピー

【隣接コピー】を選び、【間隔】を0mmにしてコピーしたい方向の矢印ボタンをクリック。

④ 【間隔】を0mm以外の距離にすると指定した間隔をあけてコピーします。

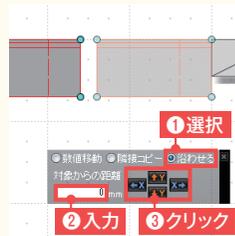
④ パーツ選択後、Ctrl+矢印キーでも隣接コピーができます。



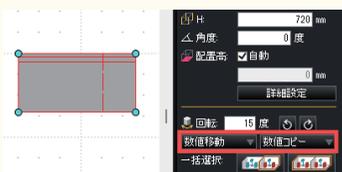
沿わせる

【沿わせる】を選び、【対象からの距離】を0mmにして沿わせたい方向の矢印ボタンをクリック。

④ 【対象からの距離】を指定すると対象物から間隔をあけた位置に移動できます。



プロパティパレットでパーツの移動・コピー・反転をする

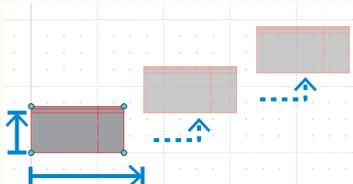


部屋やパーツを選択すると、プロパティパレットに【移動】【コピー】のボタンが表示されます。各種ボタンより、任意のメニューを選択し、操作します。

④ 【X方向】は左右、【Y方向】は上下方向です。右・上方向のときは、正の数値、左・下方向のときは負(-)の数値を入力します。

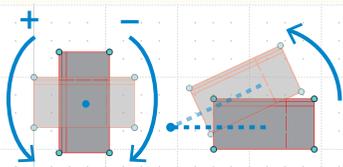
④ 【コピー】は、【個数】にコピーする個数を入力しておこないます。

数値移動・数値コピー



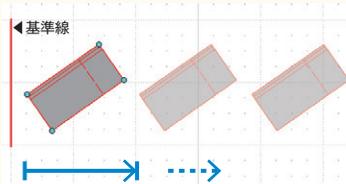
【X方向】【Y方向】に入力した数値分、移動・コピーします。

回転移動・回転コピー



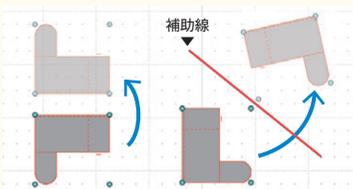
選択物の中心か、図面上の指定した中心点から、入力した回転角度で移動・コピーします。

平行移動・平行コピー



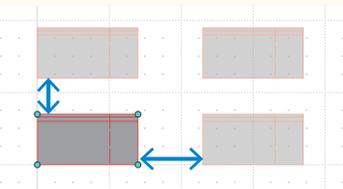
移動距離を入力し、基準線を指定して移動方向上をクリックすると、基準線に対して平行に移動コピーします。

左右反転・上下反転・軸指定反転・反転コピー



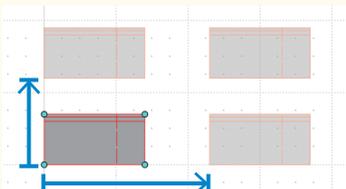
上下・左右反転は、選択物の中心をもとに反転します。また、反転軸(指定したグリッド軸や入力した補助線)を指定すると、指定した軸をもとに反転します。

間隔コピー



選択物のからの間隔距離(X・Y方向)を入力して、コピーします。

配列コピー



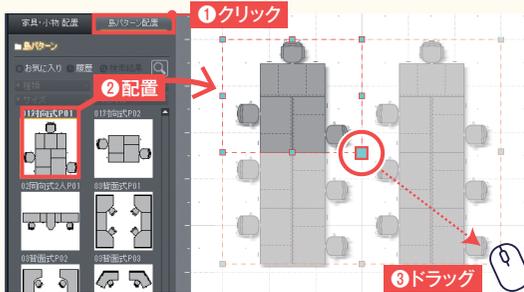
選択物の左端を基準点とした距離(X・Y方向)を入力して、コピーします。

効率よくパーツをレイアウトする

島パターンを配置する

家具・小物 配置 オフィス家具 を選択します。

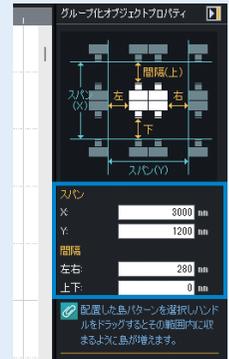
- 1 バレットの【島パターン】タブをクリック。
- 2 島パターンを配置。
- 3 配置したい方向にある水色のハンドルをドラッグ。



島の状態に配置したパーツを右クリックし【島パターンの新規登録】を選択すると、【お気に入り】フォルダに島パターンとして登録できます。



【グループ化オブジェクトプロパティ】の【スパン】や【間隔】でパターンのレイアウト間隔を変更できます。



8 作成したプランを画像出力・印刷します



プランの画像を出力します。

【ファイル】メニューの【イメージ保存】を選択し、保存する場所の指定、ファイル名の入力をして【保存】をクリック。

【ファイルの種類】でファイル形式を変更できます。

【サイズ】にて、出力する画像サイズを指定できます。

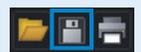


プランを印刷します。

ツールボタンの【印刷】をクリックし、【印刷】ダイアログで各項目を設定し、【印刷】をクリック。

縮尺を指定するときは、【ユーザー設定】にチェックを入れ、縮尺を指定します。

ツールバーの【保存】で保存しておきましょう。



平面プランができれば **立体化** を選択し立体化します。



視点の設定方法

視点変更ツールを使って様々な角度から見ることができます。

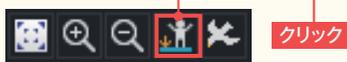
室内から鳥瞰視点に切り替える

室内の視点で【鳥瞰】をクリックすると、フロア全体を見られる鳥瞰視点に切り替わります。



鳥瞰視点から室内に移動する

鳥瞰視点で視点変更ツールの【着地】をクリックすると、鳥瞰視点から視線の先にある室内に視点を移動します。



室内を歩くように視点を移動したり、室内を見回したりする

クリック 視点変更ツールの【内観】をクリックすると、室内を見るのに適した視点変更ツールに切り替わります。

【水平移動】



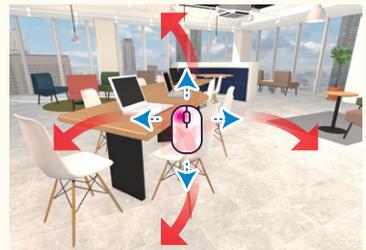
パース図で上下左右にドラッグすると、室内を歩いているように視線を移動できます。

【垂直移動】



パース図で上下にドラッグすると、今いる場所で視線を上げたり下げたりできます。

【見回す】



パース図で上下左右にドラッグすると、今いる場所で室内を見回すことができます。

立つ位置と見る方向を設定して決める

【立つ位置と見る方向を決める】をクリックします。平面図上で立つ位置をクリックし、次に見る場所をクリックすると、指定した視点に移動できます。





3Dで確認し、プランを仕上げましょう!



壁紙や床材を設定します。

STEP4

3Dでデザイン検討

意匠を調整し、デザインプランを仕上げます。

3D画面

3D上で細部を確認しながらパーツを配置し、仕上げ材を設定します。

フロアリスト

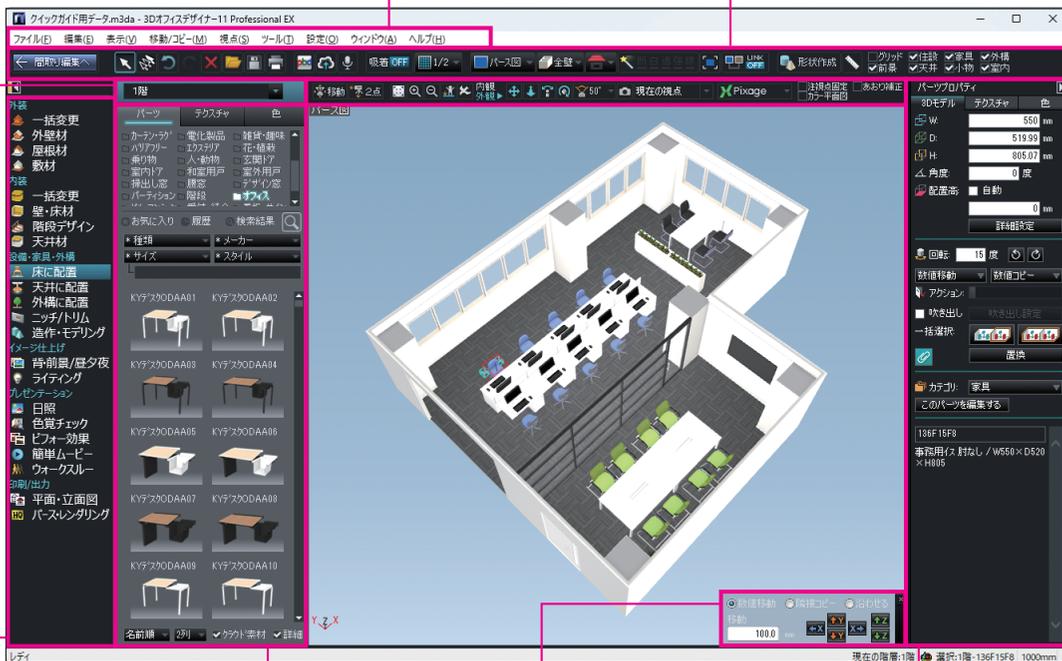
リストから編集するフロアに切り替えます。
※3Dオフィスデザイナー PRO10にはフロアリストはありません。

メニューバー

搭載されている機能を、項目ごとにまとめています。

ツールバー

よく使う操作をワンクリックで実行できるように、ボタンで表示しています。



ナビボタン

ナビボタンを選択すると、作業内容に応じたパレットに切り替わります。

パレット

選択したメニューや「ナビ」によって、作業に必要な素材、設定項目が表示されます。

シフトパッド

家具や入力済みの壁などを選択すると表示されます。数値移動やコピーができます。

プロパティパレット

選択した要素の設定項目や詳細情報が表示され、編集できます。

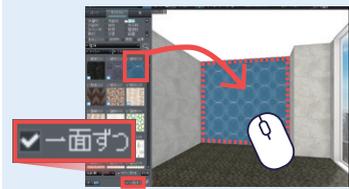
3Dイメージを確認しながら、壁紙や床材を変更します



壁・床材 を選択します。

- ① パレットの**【壁紙】**を選択。
- ② パレットから壁紙を選び、壁をクリック。

【一面ずつ】にチェックを入れると、一部分の壁のみに貼り付けることができます。



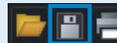
同様の手順で、パレットの**【床材】**を選択して、床材を変更します。

壁紙や床材を変更したい場所に視点を移動し、表示して操作します。
【参照P.16 視点の設定方法】

ナビによって壁の表示方法が変わります。表示は、ツールバーの**【壁表示切替】**から変更できます。



完成したデータはツールバーの**【保存】**で忘れずに保存しておきましょう。



▶ 壁・床材 (テクスチャ) の貼り付けテクニック

テクスチャの拡大・縮小



床材などを貼り付けた後に、テクスチャプロパティの**【サイズ】**の をクリックすると、貼り付けた床材が拡大します。 をクリックすると縮小します。

テクスチャの回転



床材などを貼り付けた後に、テクスチャプロパティの**【回転】**で角度を設定すると回転します。

STEP5 | プレゼン資料への展開

作成したデータから、さまざまなプレゼン資料に展開できます。

ウォークスルーで建物の中を歩きながらプレゼン ウォークスルーの軌跡を登録 / 再生 / 出力

ウォークスルー を選択

平面図で見せたいところをクリックし、軌跡を作成するだけで、建物を歩きまわるときのウォークスルーを作成できます。ドアの開き勝手や、家具を置いたときのスペースや動線など、図面だけでは伝わらない空間を確認できます。作成したウォークスルーはWMV/AVI/MP4形式のビデオファイルに出力できます。



作成したパースイメージの出力 印刷 / 画像出力 (イメージ保存)

HQ パースレンダリング を選択

作成したパースは決めた視点で印刷・出力できます。サイズなどを指定し、出力したい視点に調整して出力します。





高画質なパースを作成し、プレゼン資料に活用

高画質リアルタイムレンダリング Pixage(ピクサーージュ)

X Pixage を選択

作成したパースを、ボタン1つで高画質3Dパースや色鉛筆や水彩といったタッチに表示する機能です。6種類のアートフィルタが用意されており、ボタンの切り替えで自動的に変換します。また、視点を変えるたびにレンダリングし直す必要がないので、視点を自由に切り替えてパースを出力したり、ウォークスルーを作成できます。

※Pixageは3Dオフィスデザイナー11 Professional EXでご利用いただけます。3DオフィスデザイナーPRO10ではご利用いただけません。



建築パース高速作成オプション

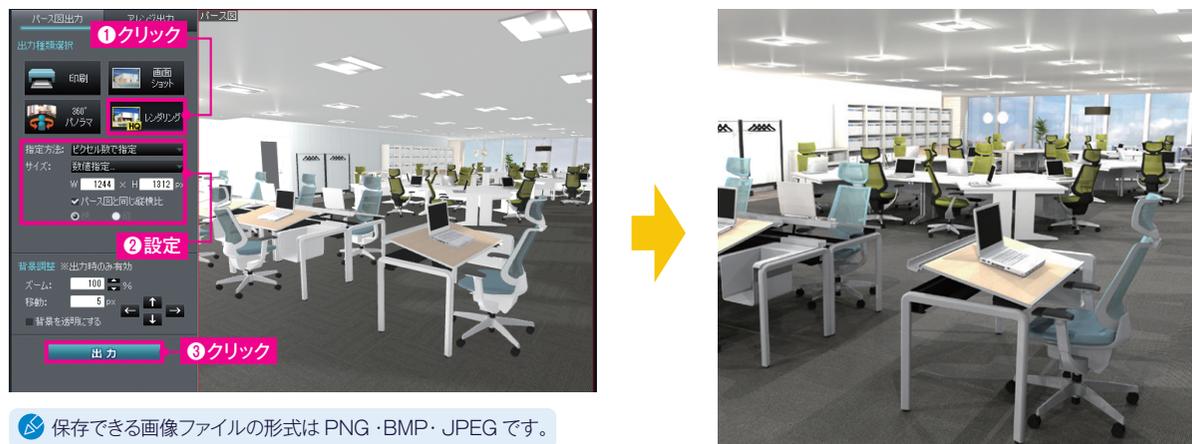
高画質レンダリング Optimage(オプティマージュ)

HQ パースレンダリング を選択

高画質の外観・内観パースを作成できます。サイズや形式を指定して出力します。インターネット上の専用サーバーでレンダリングを行います。最大10000×10000ピクセルで出力できます。

※Optimageは3Dオフィスデザイナー11 Professional EXでは標準搭載しています。

3DオフィスデザイナーPRO10は「Optimage追加レンダリングポイント」を購入いただきますとご利用になります。



保存できる画像ファイルの形式は PNG・BMP・JPEG です。



作成データを元に、プレゼンボードを自動作成

パース図/立面図/平面図をプレゼン用フォームに自動挿入



を選択

作成したデータのパース図/立面図/平面図を、Microsoft®PowerPoint®形式などで用意されたプレゼンボードフォーマットに自動挿入し、プレゼンボードを作成できる機能です。プレゼン方法を選択すると、パース図/立面図/平面図が配置されたプレゼンボードが作成されます。

※PowerPoint出力機能を使うには、パソコンにPowerPointがインストールされている必要があります。



作成したパースイメージを外部SNSで共有 360°パノラマ画像出力

HQ パースレンダリング を選択

完成したパースを360度見渡せる「360°パノラマ画像」に出力できます。出力した画像はFacebookやLINEに投稿して共有できます。



下記QRコードから
360度パノラマの
サンプルを
ご覧いただけます



作成したデータをモバイルで共有 建築データ共有サービス(イエクラウド)



を選択

作成データを建築情報を共有できるサービス「イエクラウド」にアップロードすれば、アプリ上で高画質3Dや間取り図・ARを確認できます。



企画・制作・販売:メガソフト株式会社 プログラム開発:メガソフト株式会社/株式会社サイバーウォーカー/バルテス・モバイルテクノロジー株式会社 Copyright©MEGASOFT Inc.

●「3Dオフィスデザイナー」は、メガソフト株式会社の商標です。

●本クイックガイドに掲載されている商品・サービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。詳しくは<https://www.megasoft.co.jp/support/3d/trademark>をご覧ください。

MEGASOFT®

<https://www.megasoft.co.jp>